

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社概要、拠点情報、事業案内、IR情報、採用情報などの最新情報を掲載。特に株主・投資家の皆様向けには、トップメッセージ、財務ハイライト、IRライブラリーなどを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

●会社案内・事業案内



オフィシャルホームページ
<http://www.nichiigakkan.co.jp>

●株主・投資家向けサイト



IRページ
<http://nichii-ir.irbridge.com>

●保育所を探している方に



ニチイの保育サービス
<http://www.nichiikids.net>

●毎日の家事全般を代行します



ニチイの家事代行サービス
<http://www.nichiigakkan.co.jp/kaji>

●教育講座の検索・受講申込み



介護・医療のまなびネット
<http://www.e-nichii.net>

●受講生専用学習サポートサイト



まなびネットぶらす
<http://plus.e-nichii.net>

●修了生向け求人情報サイト



きやりあネット
<http://www.c-nichii.net>

●ご家庭向け調理済み食品宅配サービス



食卓ヘルパー
<http://www.nichiigakkan.co.jp/food>

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当基準日 3月31日
中間配当基準日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 9792)
公 告 方 法 電子公告 (<http://nichii-ir.irbridge.com/ja/Top.html>)

【お知らせ】

○株式に関するお手続き用紙のご請求について
株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

- ◎0120-244-479 (三菱UFJ信託銀行本店証券代行部) 通話料無料
- ◎0120-684-479 (三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部) 通話料無料
- ◎インターネットアドレス<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



株式会社 ニチイ学館
〒101-8688 東京都千代田区神田駿河台2丁目9番地
TEL:03-3291-2121 (代表) 03-3291-3954 (広報部)

株主のみなさまへ

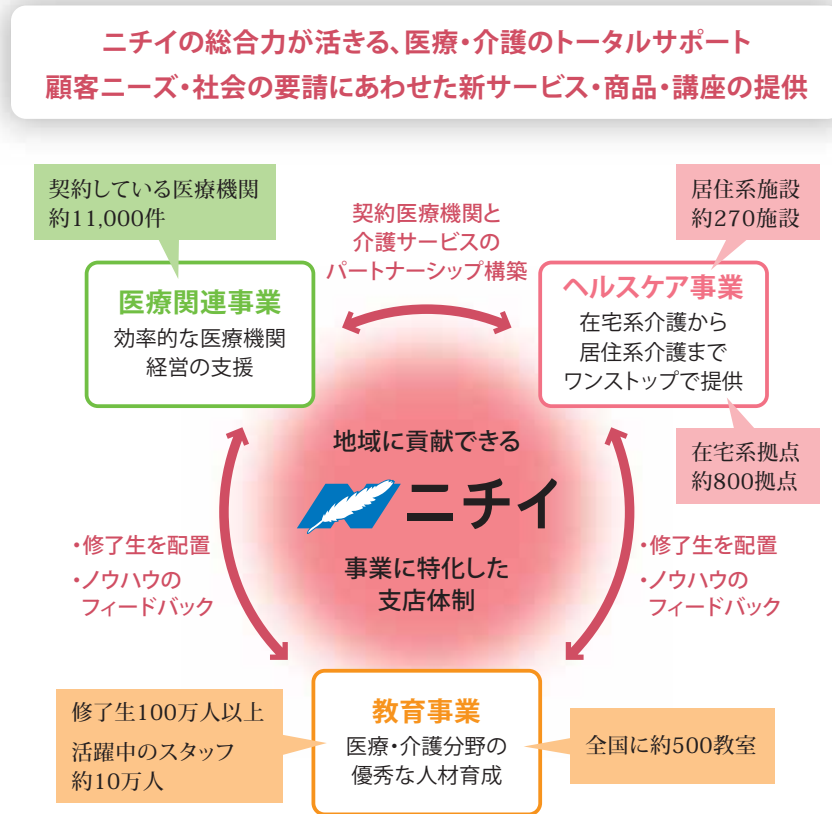
第37期 中間報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで



【事業ドメイン】

当社では、教育事業において養成した専門知識とスキルを持つ修了生を採用し、当社の受託した医療事務業務やヘルスケア業務に配置することで、専門技能者としての活躍の場を提供でき、かつ顧客に対して質の高いサービスを安定的に提供しています。また、各事業で連携することで、ワンストップで高度な福祉サービスを提供できることが当社の強みです。



生活基盤の支えになる企業を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第37期中間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

医療・介護を取り巻く環境は、保険制度が抱える様々な課題の解決と国民生活の安心の確保に向け、社会保障そのものの再構築が進められています。

医療・介護保険制度の動向に大きな関心と期待が寄せられるなか、両分野で事業展開するニチイグループでは、昨年実現した介護予防から在宅系・居住系介護に至る介護サービスの拡充と、医療関連事業の抜本的な改革、教育事業を柱とする人材供給力の強化を推し進めております。

また、収益性の向上に向け、各事業間の横断的な営業システムと管理・運営体制を確立し、事業間におけるシナジー効果を追求するとともに、法令遵守の徹底に取り組んでおります。

創業当時より社会保障領域の中を歩んできた

ニチイグループでは、今後も、隙のないサービスポートフォリオの構築に向け、医療関連事業における経営支援サービス、ヘルスケア事業における介護保険外サービス、教育事業における新講座開発など、社会ニーズに合わせた新たな価値の創造に努めてまいります。

社会経済構造の変化に的確に対応することで、中長期的な持続成長を実現し、超高齢社会の社会的役割を担う生活基盤の支えとなる企業を目指して邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
寺田 明彦
Akihiko Terada

【社是】

誠意・誇り・情熱

【経営理念】

私たちは誠意を以て社会参加の信条とし、社業の社会的使命を弁え、誇りをもって行動し、若々しい情熱で限りない未来への可能性に挑戦します。そして、社業の発展を通して豊かな人間生活の向上に貢献します。

【ニチイグループのブランドスローガン】

**やさしさを、
私たちの強さにしたい。**



超高齢社会における環境の変化をビジネスチャンスとし、生活直結型産業のリーディングカンパニーを目指してまいります。

Q 当中間期と下期にかけての業績概況についてお聞かせください。

A 中間期は3期ぶりの増収、下期以降の業績も回復傾向となっております。

当中間期の業績につきまして、売上高は、居住系介護事業の拡大により中間期ベースで3期ぶりの増収となりました。一方、利益につきましては、医療関連事業における契約適正化の推進や居住系介護事業の人件費等、先行費用負担により厳しい結果となりました。しかしながら、第2四半期には、連結営業利益での改善が見られ、教育事業についても前年同期比で増収トレンドへと転じていることから、下期以降の業績は回復へ向かうものと考えております。



代表取締役社長
森 嶷
Takashi Mori

Q 当期の主な取り組みをお聞かせください。

A 医療・介護・教育それぞれの収益力とサービス提供力の強化と同時に、サービス間の連携とシナジー効果の最大化に向けた取り組みを進めてまいりました。

【医療関連事業の収益拡大に向けた取り組みについて】

当期は、人材への投資に併せて、既受託医療機関との契約の適正化に本格着手しております。

中間期の業績は、契約の適正化による受託件数や売上高の一時的な低下により、減収減益となりましたが、来期以降は、人材への投資で培った質の高いサービスをもって適正利益を確保し、確実な収益確保へ繋げてまいります。

医事受託業務と並行し、市場のIT化に対応した経営支援サービスの拡充や、4月の医療制度改革で新設された医師事務作業補助業務への対応・育成など、市場のニーズに対応した取り組みを複合的に進め、収益基盤を強化してまいります。

【ヘルスケア事業のサービス間シナジー効果について】

ヘルスケア事業については、昨年11月の居住系

介護事業承継後、その事業規模とサービス提供力の整備に取り組み、約20件の仕掛け物件開設を進めました。併せて、居住系介護サービス・在宅系介護サービス・保険外サービスとのシナジー効果の向上で、安定した収益確保へ向けて取り組みました。

また、介護保険外サービスの新たな核として、日常の家事全般を請け負う「家事代行サービス」を7月から一部地域で開始し、10月からは全国展開も開始いたしております。在宅系・居住系の介護保険サービスや高専賃との相互利用とともに、高齢者層のみならず子育て世代など、幅広い層へのご利用を推進し、今後はヘルスケア事業の新たなサービスメニューの一つとして育てていきたいと考えております。

利用者状況に関しまして、居住系介護は、承継時から概ね計画通りに推移し、在宅系介護についても、期初の見込みよりも緩やかな回復ではありますが、第2四半期を底に上昇に転じております。今後も、トータル介護サービスを拡充し、今期はヘルスケア連結売上高1,000億円を達成してまいります。

【教育事業 今後の展開について】

受講生サイトの充実や開講教室の利便性向上などのCS向上とともに、積極的な広告展開と、新講座の開発・開講に努めてまいりました。

6月の食育実践講座開講に続き、11月には、医師

事務作業補助へのニーズに合わせ、「メディカルドクターズクラーク講座」を開講いたしております。メディカルドクターズクラーク講座は、病院勤務医の事務負担軽減に貢献する講座として開発いたしました。医療事務の上級講座として医師事務作業補助の技能を修得し、今後は医事業務のキャリアアップに繋げるとともに、医療関連事業の現場と連携し、医療機関をサポートしてまいります。

また、中間期は主力講座を中心に、受講生数が増加に転じております。「教育から就業まで」という当社ビジネスモデルを支える基幹事業として戦略的に強化してまいります。

当期、医療・介護分野においては、4月の診療報酬本体の引き上げや、医師不足対策への報酬加算、来期に向けた介護職員の待遇改善と介護報酬引き上げの決定など、社会保障再構築への中長期的な展望が次々と示されました。

当社では、日々変化する市場ニーズと社会保障制度の動向をビジネスチャンスに変え、今後も超高齢社会の幅広いステージでサービスを提供する、生活直結型産業のリーディングカンパニーを目指してまいります。

居住系介護事業承継に関するご報告

【居住系介護施設のご紹介】



ニチイのほほえみ

認知症によりご自宅での生活がやや困難になった方々のための、介護保険制度下に定められた認知症対応型共同生活介護(グループホーム)です。

入居金	0~47万円	施設数	186施設
対象	認知症の方		



ニチイホーム

お客様のご要望を反映できる充実の住空間や自立支援・介護予防プログラム、そして健康状態や生活習慣に沿ったサポートで、安心して楽しいコミュニティをご提供する介護付有料老人ホームです。

入居金	740~1,680万円	施設数	11施設
対象	自立・要支援・要介護の方		



ニチイのきらめき

より家庭的な雰囲気の中で、暮らしやすさと充実したコミュニティー、真心を込めたサポートで安心して年齢を重ねていただける高齢者ホームです。

入居金	0~45万円	施設数	32施設
対象	自立・要支援・要介護の方		

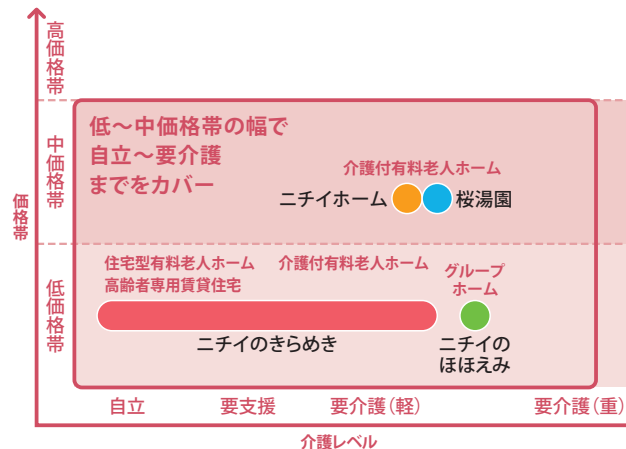


桜湯園

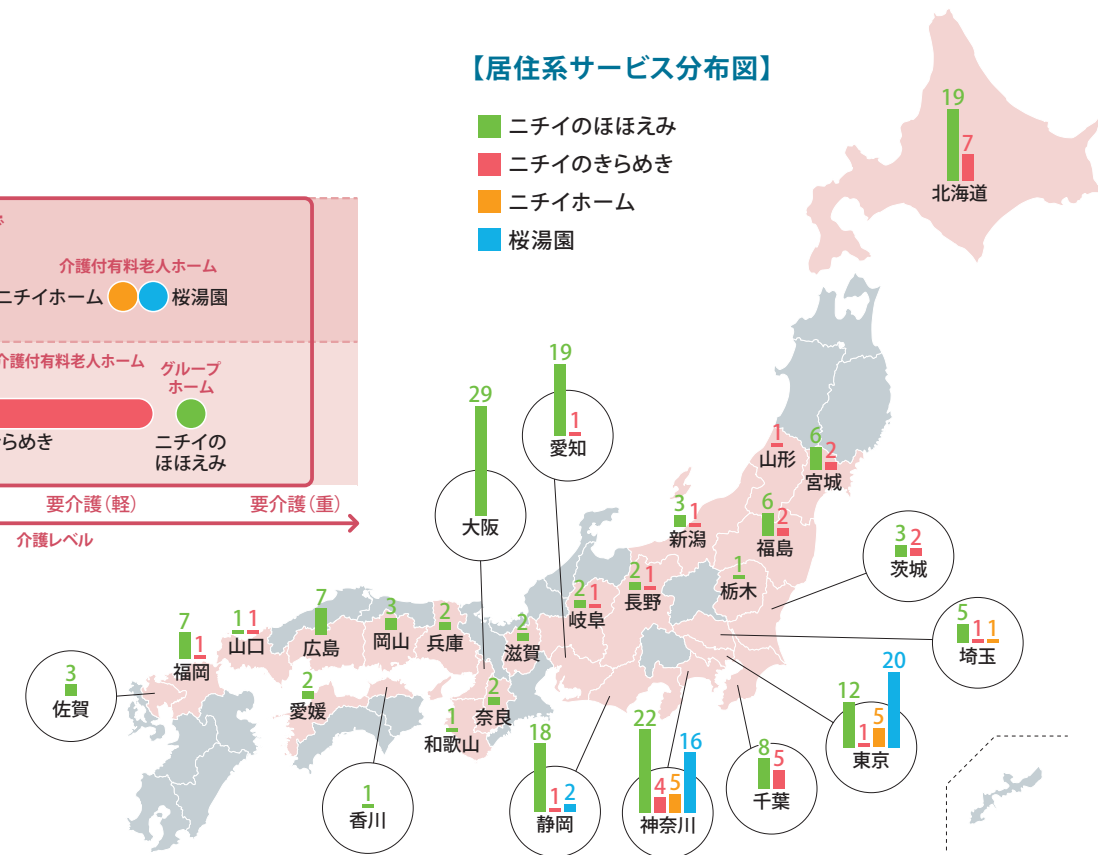
1983年の創設以来25年の歴史と実績。家族介護を理念とし、安心・安全のある住まいのご提供はもちろん、もう一歩先の介護・健康管理・食事・人材育成を目指す、介護付有料老人ホームです。

入居金	0~1,950万円	施設数	38施設
対象	自立・要支援・要介護の方		

【価格帯プロット図】



【居住系サービス分布図】



【事業進捗報告】

平成20年11月1日をもって、居住系介護事業承継から1周年を迎えることができました。

介護付有料老人ホームやグループホーム等、約270施設を承継し、来期の本格稼働に向け、サービスの質向上と仕掛け物件23施設の開設を進めてまいりました。

在宅系介護から居住系介護を網羅するサービス展開を強みとし、その強みを最大限に活かすための組織改革を推し進めてまいりました。組織全体の連携強化を図る支店管轄体制により、営業力の効率化や人材の定着を高

め、全国の拠点で高水準のサービス提供を可能にする組織体制を構築いたしました。

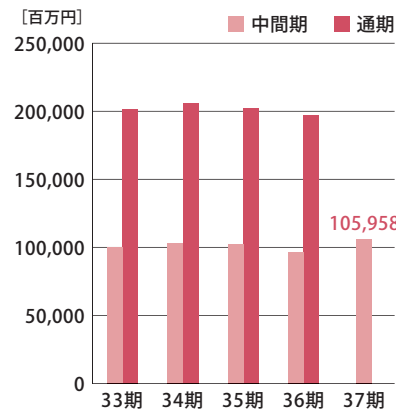
ヘルスケア事業を開始して12年、在宅介護で培ってきた豊富なノウハウを居住系介護サービスでも存分に活かし、お客様一人ひとりのライフスタイルを尊重し、多様化するニーズに対応可能なサービスラインアップ・優しさと思いやりを兼ね揃えた介護技術で、これからもお客様をお迎えしたいと考えております。

全体概況

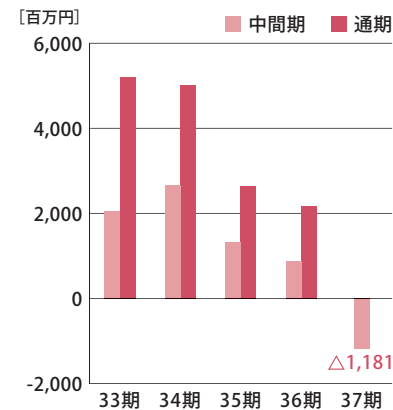
■3期ぶりの増収も、 先行投資費用などが響き損失計上

ヘルスケア事業の居住系介護サービス売上高が寄与し、全体で3期ぶりに増収となりました。一方、医療関連事業の契約件数の減少、居住系介護サービスの先行費用の発生、のれん償却費の影響などがあり、中間連結決算は、売上高105,958百万円(前年同期比9.6%増)、営業損失1,181百万円(前年同期は営業利益880百万円)、経常損失1,313百万円(前年同期は経常利益966百万円)、中間純損失は1,539百万円(前年同期は中間純利益13百万円)となりました。

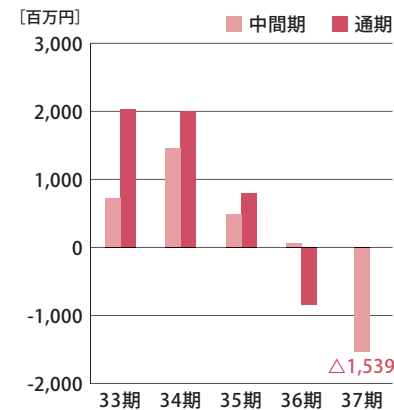
【売上高】



【営業利益】



【当期純利益】



業績見通しに関する注意事項

業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる場合がございます。

部門概況

医療関連事業

契約の適正化と同時に
院内業務の効率化をはかる

受託医療機関との契約内容の見直しを進める一方、事業環境や顧客ニーズに合わせたサービスの拡充も行ないました。

ヘルスケア事業

居住系介護サービスが寄与し
大幅増収

居住系介護サービスの先行費用などの影響で利益面では厳しい結果となりましたが、来期以降の収益貢献が見込まれます。

教育事業

医療事務講座を中心に
売上回復傾向

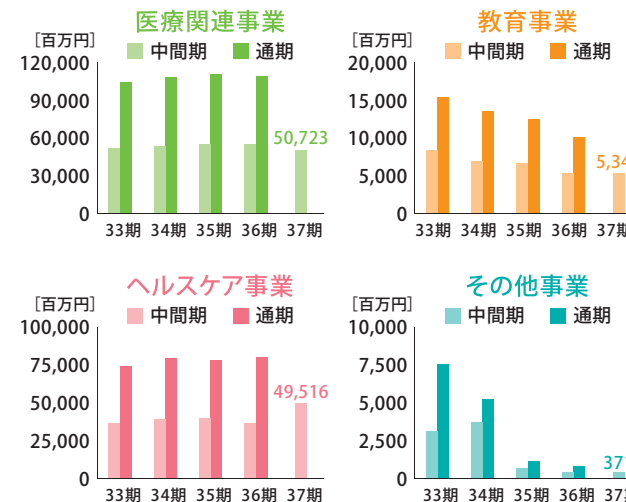
講座ラインアップの強化・利便性の向上をはかるとともに、医療・介護の制度動向や募集職種に関する啓発にも取り組みました。

その他事業

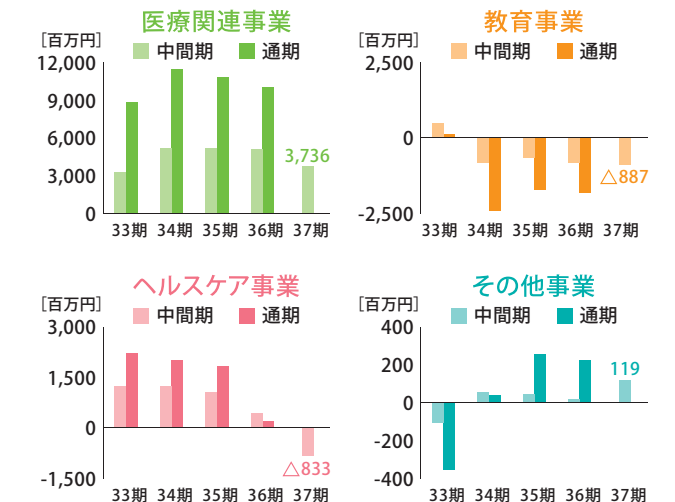
グループ内の強化に向けた
事業展開を推進

グループ内の経営資源を活かした事業展開と事業の効率的な運営に努めました。

【部門別売上高】



【部門別営業損益】



※部門別売上高につきましては、外部顧客に対する売上高になります。

※詳細な決算報告につきましては、当社IRサイト (<http://nichii-ir.irbridge.com>) もご覧ください。

第37期中間のニチイ TOPICS

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療	<p>○診療報酬改定セミナー開催</p>  <p>平成20年度の診療報酬改定に対応した医療機関の経営対策をサポートするセミナーを3つの方法で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 出張セミナー 支店開催セミナー WEBセミナー 	<p>ニチイのほほえみ(グループホーム) 4月新規オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢原 高島 <p>ニチイのきらめき 4月新規オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚別(介護付有料老人ホーム) 長野南(高齢者専用賃貸住宅) 取手(高齢者専用賃貸住宅) 秦野(住宅型有料老人ホーム) <p>ニチイホーム(介護付有料老人ホーム) 4月新規オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩川緑地 センター北 	<p>ニチイのきらめき(介護付有料老人ホーム) 5月新規オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭川 帯広 北見 伊勢原 	<p>○国際モダンホスピタルショウ2008(7月16日~18日・東京ビッグサイト)に出展</p>  <p>医科診療所向けに、経営状況の把握と経営効率の向上を目的とした、「レセプト診断2.0」の全国販売を開始。</p> <p>ニチイのほほえみ(グループホーム) 7月新規オープン</p> <ul style="list-style-type: none"> 矢板 	<p>○レセプト診断2.0 START</p> 	
ヘルスケア	<p>○ニチイのほほえみ2施設</p> <p>○ニチイのきらめき4施設 OPEN</p> <p>○ニチイホーム2施設</p> 	<p>○アイリスガーデン 松戸総台 OPEN</p> 	<p>○ニチイのきらめき4施設 OPEN</p> 	<p>○ニチイホーム 桜湯園 ホームページ OPEN</p> 	<p>○ニチイのほほえみ1施設 OPEN</p> <p>○ニチイの家事代行サービス START</p>  <p>介護保険外のサービスおよび家族介護の生活支援をはじめとして、様々な方にご利用いただける家事代行サービスを7月1日よりスタート。(全国展開は10月1日~)</p>	
教育	<p>○まなびネットぷらす START</p> 	<p>ニチイグループ初の高齢者専用賃貸住宅として5月12日オープン</p> <p>ニチイの教育講座受講生専用のサポートサイトを開設。学習に関するアドバイスから掲示板による受講生同士の交流まで幅広いコンテンツを展開。</p>	<p>「健康」に関する講座拡充の一環として6月23日に新講座を開設。</p>	<p>○食育実践講座 START</p> 	<p>○「福祉人材確保重点実施期間」の取り組みに賛同</p>  <p>福祉人材確保のため、福祉の就職応援キャンペーンを7月21日~8月31日まで実施</p>	
その他	<p>○学校法人大正大学と産学連携協定締結</p>  <p>学生の社会貢献活動の機会提供や、CSR活動を目的に、4月22日に産学連携協定を締結。</p>	<p>○平成20年3月期 通期決算発表</p>	<p>○第36回定時株主総会 新任役員人事</p>	<p>○平成21年3月期 第1四半期決算発表</p> <p>○ニチイのオフィシャルホームページリニューアル</p> 	<p>○新CM放映 (放映期間8月23日~9月15日)</p> 	

CSR NEWS

国際経済協力の一環である外国人看護師・介護福祉士候補者に対する日本語等の研修施設として、当社が協力しています。

2008年7月に発効された「経済上の連携に関する日本国とインドネシア共和国との間の協定」に基づいて、(財)海外技術者研修協会が実施する看護師・介護福祉士候補者の研修施設として当社施設「神戸ポートアイランドセンター」が使用されています。



- 受入期間**
2008年8月10日~2009年2月13日
- 受入対象者および人数**
看護師候補者30名
- 提供サービス内容**
研修会場・宿泊施設・食事の提供

要約財務諸表

■ 連結貸借対照表(要約)

[単位:百万円]

【資産の部】	第37期中間	第36期中間	前期末
	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)
流動資産	38,751	49,204	38,850
固定資産	82,563	59,516	82,434
有形固定資産	37,005	38,355	37,420
無形固定資産	23,168	7,242	22,580
投資その他の資産	22,389	13,918	22,432
資産合計	121,315	108,721	121,284

【負債の部】

流動負債	34,623	45,635	31,008
固定負債	38,385	11,605	39,666
負債合計	73,008	57,241	70,675

【純資産の部】

資本金	11,933	11,933	11,933
資本剰余金	17,354	17,354	17,354
利益剰余金	24,760	27,924	27,075
自己株式	△5,936	△5,936	△5,935
株主資本合計	48,111	51,276	50,427
その他有価証券評価差額金	28	42	26
評価・換算差額等合計	28	42	26
少数株主持分	166	161	154
純資産合計	48,306	51,480	50,609
負債純資産合計	121,315	108,721	121,284

▶ 流動負債

▶ 流動負債	第37期中間	第36期中間	前期末
	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)
支払手形及び買掛金	935	931	1,751
短期借入金	5,670	13,613	313
未払法人税等	569	556	690
未払費用	15,100	16,704	16,199
賞与引当金	3,120	3,554	3,019
役員賞与引当金	24	22	36
その他	9,203	10,252	8,998
流動負債合計	34,623	45,635	31,008

■ 連結損益計算書(要約)

[単位:百万円]

	第37期中間	第36期中間	前期末
	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)
売上高	105,958	96,701	199,797
売上原価	88,049	78,699	163,719
売上総利益	17,908	18,002	36,077
販売費及び一般管理費	19,090	17,121	33,905
営業利益又は営業損失	△1,181	880	2,171
営業外収益	208	194	349
営業外費用	340	108	478
経常利益又は経常損失	△1,313	966	2,042
特別利益	12	62	327
特別損失	89	456	1,275
税金等調整前中間(当期)純利益又は純損失	△1,390	572	1,093
法人税、住民税及び事業税	266	242	491
法人税等調整額	△134	299	1,406
少数株主利益	16	16	30
中間(当期)純利益又は純損失	△1,539	13	△834

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

[単位:百万円]

	第37期中間	第36期中間	前期末
	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△826	1,779	△289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,158	△15,759	△29,162
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,669	10,520	23,316
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	684	△3,459	△6,135
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	30	—	—
現金及び現金同等物の期首残高	3,434	9,570	9,570
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	4,150	6,111	3,434

■ POINT

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ30百万円増加し121,315百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ、2,333百万円増加し73,008百万円となりました。主な要因は、短期借入金が増加し5,357百万円増加し、支払手形及び買掛金が815百万円、未払費用が1,098百万円及び社債が1,480百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、2,302百万円減少し、48,306百万円となりました。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間配当 (1株あたり11円) のお知らせ

当社は、株主の皆様への安定的且つ継続的な利益還元を基本方針としております。

この方針のもと、平成21年3月期より株主の皆様への利益配分の機会を充実させるため、中間配当を実施することといたしました。

9月30日を基準日とする1株あたりの配当金の決定額につきましては、当社の利益配分の基本方針に基づき、平成20年5月22日に公表した配当予想のとおり、当第2四半期において1株あたり11円の中間配当を実施いたします。

■ 自己株式取得のお知らせ

当社では経営環境の変化に対応し、機動的な資本政策を実施するため、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

- ■ 取得対象株式の種類
当社普通株式
- ■ 取得しうる株式の総数
50万株 (上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.4%)
- ■ 株式の取得価額の総額
5億円 (上限)
- ■ 取得期間
平成20年10月14日～平成20年10月31日
平成20年11月20日～平成21年1月31日

■ 株式の状況 (平成20年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	110,000,000株
発行済株式総数	36,508,976株
資本金	11,933,790,500円
株主数	20,645名

■ 大株主 (平成20年9月30日現在)

大株主	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社 明和	6,495	17.79
寺田 明彦	4,784	13.10
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	2,866	7.85
ノーザントラストカンパニーAVFC サブアカウント アメリカクライアント	2,552	6.99
ジェーピーモルガン チェースバンク	1,160	3.17
ノーザントラストカンパニーAVFC リニューエスタックスエグゼンプテド ペンションファンズ	925	2.53
ザチェースマンハッタン バンクエヌエイロンドン	903	2.47
株式会社三菱東京UFJ銀行	803	2.20
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー	770	2.11
資産管理サービス 信託銀行株式会社	679	1.85

(注1) 上記のほか、自己株式(1,289千株)があります。
(注2) 信託銀行持株数には、信託業務に係るものが含まれています。
(注3) 持株数については、千円未満を切り捨てて表示しています。

■ 会社概要 (平成20年9月30日現在)

商号	株式会社ニチイ学館
所在地	東京都千代田区神田駿河台2丁目9番地 TEL:03(3291)2121(代表) TEL:03(3291)3954(広報部)
設立	昭和48年8月
従業員数	9,350名(連結) 5,342名(単独)
事業所数	18営業統括部 96支店 16営業所 815ニチイケアセンター 272施設(介護付有料老人ホーム・グループホーム・ 高齢者専用賃貸住宅等計)

■ 役員 (平成20年9月30日現在)

代表取締役会長	寺田 明彦	常勤監査役	山下 吉三
代表取締役社長	森 嶺		小島 啓克
代表取締役副社長	谷治 一好		大石 豊
代表取締役副社長	寺田 大輔		大島 秀二
専務取締役	斉藤 正俊		時枝 優
常務取締役	金井 進		小原ツヤ子
取締役	寺田 孝一		伊藤 健三
	海瀬 光雄		池田千恵子
	寺田 勇		平岡 靖宏
	荒井 尚美		
	森 信介		
	木原佳代子		
	北村 俊幸		
	増田 崇之		

株券電子化がスタートします! (2009年1月5日 実施予定)

あなたの株式は大丈夫ですか?

自宅(または貸金庫)に保管している場合、必ず株券の名義を確認してください。

➡ ①本人名義になっています。

ひとまず安心
株主本人名義で上場会社が株主名簿管理人(信託銀行等)に株主の権利を保全するための口座(特別口座)を開設し、株主の権利は保全されます。

➡ ②他人名義になっています。

必ず本人名義への書換を!!
他人名義で特別口座が開設され、最悪の場合、株主としての権利を失う恐れがあります。

株券電子化に関するご質問・ご相談は、株券電子化コールセンターへ

お問い合わせ先 および情報は
「株券電子化」なんでも相談窓口(株券電子化コールセンター)※
0120-77-0915 平日・土/9:00~17:00
通話料無料

※株券電子化コールセンターは、(株)証券保管振替機構・日本証券業協会・(株)東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。